

事業名		代表者 所属	防府市青少年科学館
17 KJ-009 サイエンスアカデミー2017		代表者	館長 松本 浩
		開催地	防府市
		助成金額	15万円
活動概要	<p>日時 平成29年7月15日(土)～7月30日(日)</p> <p>場所 防府市青少年科学館</p> <p>対象 事前申込不要の科学体験教室:4歳～一般 Aコース:4歳～小学2年生(親子で参加) Bコース:小学3年生～小学6年生 Cコース:小学5年生～中学3年生</p> <p>参加者 4,572人 内訳(事前申込不要の科学体験教室:2,006人) (A～Cコース:2,566人)</p> <p>内容 講師に小・中学校、高等学校、大学等の先生方をはじめ、企業や博物館の皆様をお迎えし、幼児から中学生までを対象とした科学教室を開催。また、事前申込不要で参加できる科学体験教室も実施。 科学教室:39種類、事前申込不要の教室:8種類)</p>		

事業の目的・ねらい

防府市青少年科学館は、青少年の科学する心を育み、未来への夢や希望を抱かせるための体験型学習施設として、幅広い科学教育普及事業を行っている。

防府市青少年科学館では、平成10年の開館以来、夏休み期間中に継続的に科学教室を実施しており、前身の「おもしろサイエンス in ソラール」を含め、今年で20回目となった。科学実験や工作などを通して、科学の不思議さや楽しさを体感していただき、科学に対する興味関心を掘り起こすことを目的に開催している。

今年の「サイエンスアカデミー2017」においても、幼児や小・中学生の科学的な好奇心を刺激し、科学することの面白さ、楽しさを知っていただける内容の教室を実施した。

事業の概要

講師に小・中学校、高等学校、高等専門学校、大学の先生方をはじめ企業や博物館の皆様をお迎えし、夏休み前半の14日間、幼児から中学生までを対象とした科学教室を開催した。

事前申込みが必要な教室は、1日3種類行い、A:コースは1回45分で1日5回実施、B・Cコースは1回90分で1日3回実施した。また、事前申込み不要の科学体験教室は、毎日1種類実施した。

なお、7月20日は、ほとんどの公立小・中学校で1学期の終業式であったため、事前申込みが必要な教室は実施せず、事前申込み不要の科学体験教室を2種類実施した。

対象年齢は、Aコースが4歳～小学2年生、Bコースが小学3年生～小学6年生、Cコースが小学5年生～中学3年生とし、事前申込み不要の科学体験教室は、4歳～一般とした。

それぞれの教室のタイトルは、次のとおりである。

7/15(土)	A:ビー玉ころころ B:岩石標本をつくろう!	B:美しいかきまぜ棒をつくろう 申込不要の教室:輪ゴムの力で走る車
7/16(日)	A:松田のホログラム万華鏡 B:モーターで走る木製バイク	C:作って学ぼうLEDの仕組み 申込不要の教室:輪ゴムの力で走る車
7/17(月・祝)	A:見えない光を見てみよう! B:調べよう!海のプランクトン	B:回転して開く「からくり工作」 申込不要の教室:すっとび!シャトル

7/20 (木)	申込不要の教室:すつとび!シャトル、カラフルスライム	
7/21 (金)	A:傘袋ロケットを作ろう! B:コマ型日時計を作ってみよう!	B:筋肉の痛みを消す薬をつくろう 申込不要の教室:ふわふわボール
7/22 (土)	A:ぱっくんワニさんとあそぼう! B:-196℃の超冷たい世界体験	C:金のスプーンと銅のスプーン 申込不要の教室:ふわふわボール
7/23 (日)	A:ペットボトルで光の万華鏡 B:糸のこで作るトントんずもう	B:ポンポン船を作ろう 申込不要の教室:くるくるタコプター
7/24 (月)	A:なぜ光る!?蛍光風車 B:メダカの観察・飼育に挑戦	C:分光器で光のヒミツを探ろう 申込不要の教室:くるくるタコプター
7/25 (火)	A:葉脈標本でマイしおりを作ろう B:わくわくEスクール〜ホバークラフトI〜	B:アロマキャンドルを作ろう!! 申込不要の教室:クルクル回すふしぎな模様
7/26 (水)	A:声がきこえるー糸でんわー B:メリーゴーランドをつくろう	C:暗くなると発光するLED回路 申込不要の教室:クルクル回すふしぎな模様
7/27 (木)	A:じしゃくでネズミがクルクル B:高〜くとぶヘリコプターづくり	B:木の葉化石を掘り出そう! 申込不要の教室:とじてひらいて紙からくり
7/28 (金)	A:エコーマイクをつくろう B:解明しよう!化石のできかた	C:3Dの世界をつくろう楽しもう 申込不要の教室:とじてひらいて紙からくり
7/29 (土)	A:CDホバークラフトを作ろう B:とべ!ペットボトルロケット ごく動物	C:DNAを見てみよう 申込不要の教室:まるでマジック!?ゆらしてう
7/30 (日)	A:ドングリパラシュートを作ろう B:化石のキーホルダー ごく動物	C:魔法の光で見えないものを見る 申込不要の教室:まるでマジック!?ゆらしてう

成果・効果

防府市青少年科学館では、開館以来、夏休み期間中に多様な科学教室を実施するイベントを開催しており、今年の「サイエンスアカデミー2017」では、14日間に6,381人の来館者があった。このうち、科学教室への参加者は4,572人で、その内訳は次のとおりである。

Aコース:1,159人 Bコース:1,081人 Cコース:326人 申込不要の教室:2,006人

この事業は、気軽に科学を体験でき、また、自由研究の参考にできるため、毎年この「サイエンスアカデミー」を楽しみにしておられる方も多く、当館では夏休み期間中の恒例の事業となっている。

今年は、夏休み前の7月15日から7月30日まで開始し、1日平均455人もの来館者で賑わった。

科学的な知識は教科書や参考書、図鑑などから得ることはできるが、当館では、知識だけでは子どもたちに科学は身につかないと考えており、実際に体験することによって、科学の楽しさや面白さをより一層感じることができ、また感動も大きいことが、この事業の人気の一因であると感じている。

講師の先生方からは、子どもたちのイキイキした姿や好奇心あふれた眼差しを見たりすることは大変充実感があり、学校とは違った施設での指導方法の勉強になることも多いので、継続して参加したいという声をいただいている。

これらのことから、参加する子ども達の科学への興味関心の喚起のみならず、講師の方の指導方法のあり方についても、成果が出ていると思われる。

各教室は工作を中心に、観察や実験など多様な内容となるよう講師に依頼している。Aコースは子どもと保護者のペアで参加していただくことにしているが、BコースやCコースの教室でも保護者同席が可能な教室もあり、親子で実験や工作などに組み込まれている姿を見て、親子の絆を深めるという意味でも良い効果が出ていると感じている。

なお、中学生は夏休みに入ると、部活動での試合やコンクールなどで忙しく、当事業に参加できない生徒もいる。今後の課題として、開催時期を移動させるか、又は、2回に分けて開催するといった検討が必要かも知れない。

いずれにせよ、当館は「むずかしいと思われがちなサイエンスを『やさしく、ふかく、たのしく』伝える」ことをモットーしているので、この事業は夏休みに欠かすことのできない大切な事業である。

今後も、将来を担う子ども達がワクワクし、目を輝かせながら科学体験ができる場を提供していくことが当館の使命であるとの前提でこの事業を継続実施して参りたい。



Aコース「松田のホログラム万華鏡」



Bコース「木の葉化石を掘り出そう」



Cコース「3Dの世界をつくろう楽しもう」



申込不要の科学教室「クルクル回す不思議な模様」